

地域経済概況

No.629

2023年9月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【9月】

《景気判断》➡「緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を5か月連続で据え置いた
- 個別指標においては「企業収益」について上方修正、その他の項目においては判断を据え置いた

(個人消費) ➡ 持ち直している	(設備投資) ➡ 持ち直している
(輸出) ➡ このところ持ち直しの動きがみられる	(生産) ➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益) 📈 総じてみれば改善している	(企業の業況判断) ➡ 持ち直している
(雇用情勢) ➡ 改善の動きがみられる	(消費者物価) ➡ 上昇している

📈…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 📉…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【7月】
令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	103.8 (103.6)	▲1.8	105.4 (105.2)	▲2.3
出荷 (速報値)	103.1 (102.8)	▲1.8	104.7 (104.4)	▲1.7
在庫 (速報値)	106.4 (106.7)	+0.6	107.2 (107.5)	+5.7

(経済産業省調べ)

- 7月の季節調整済指数（前月比）は在庫で上昇、生産および出荷で低下
- 生産で上昇した業種…輸送機械工業（除自動車工業）、化学工業（除無機・有機化学工業）、自動車工業ほか3業種
- 生産で低下した業種…生産用機械工業、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業ほか7業種
- 製造工業生産予測調査によると、8月は前月比+2.6%の上昇、9月は同+2.4%の上昇見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【8月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	213,865	+19.4
軽自動車販売台数	126,477	+14

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- 8月の普通自動車等販売台数は前年同月比8か月連続の増加、軽自動車販売台数は2か月ぶりの増加
- 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は340,317台（前年同月比+17.3%）で12か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【8月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		3,897	+11.8
主要5品目	衣料品	924	+13.1
	身のまわり品	658	+20.8
	雑貨	864	+14.5
	家庭用品	143	+6.2
	食料品	1,038	+4.0

(日本百貨店協会調べ)

- 8月の売上高は18か月連続の増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+5.5%で18か月連続の増加、インバウンドは同+244.4%で17か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+14.2%で23か月連続の増加、10都市以外が同+4.7%で2か月連続の増加

■スーパー等大型チェーン【8月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		11,432	+3.4
部門別	食料品	8,246	+4.8
	衣料品	503	+8.4
	住関連品	1,991	+4.4
	サービス	23	+4.5
	その他	667	▲15.5

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で6か月連続の増加
- 食料品は依然として節約志向の高まりから買い控えが続いているが、店頭価格の上昇もあり水産品を除き売上は伸びた
- 衣料品は高気温の影響もあり季節商品の動きが良く、住関連品の動きも良かった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【7月】

		戸数(戸)	前年同月比(%)
利用関係別	総戸数	68,151	▲6.7
	持家	20,689	▲7.8
	貸家	30,170	+1.6
	分譲住宅	16,979	▲17.6
	マンション	5,797	▲28.0
	一戸建	11,066	▲11.2

(国土交通省調べ)

7月の総戸数は2か月連続の減少

前年同月比は持家は20か月連続の減少、貸家は先月の減少から再びの増加、分譲住宅は2か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは3か月ぶりの減少、一戸建住宅は9か月連続の減少

地域別戸数は首都圏(前年同月比▲12.1%)、中部圏(同+3.0%)、近畿圏(同▲7.9%)、その他地域(同▲4.0%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【8月】

		受注額(百万円)	前年同月比(%)
利用関係別	受注総額	114,746	▲17.6
	内需	35,680	▲31.1
	外需	79,066	▲9.7

(日本工作機械工業会調べ)

8月の受注総額は8か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を31か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【8月】

		倒産件数	負債総額
		760件	1,083億円
前月比	+0.2%	▲33.1%	
前年同月比	+54.4%	▲2.7%	

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は17か月連続で前年同月を上回った

負債総額は2か月ぶりに前年同月を下回った

新型コロナウイルス関連倒産は241件発生

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【9月】

《総括判断》⇒「生産に弱めの動きがみられるものの、持ち直している」

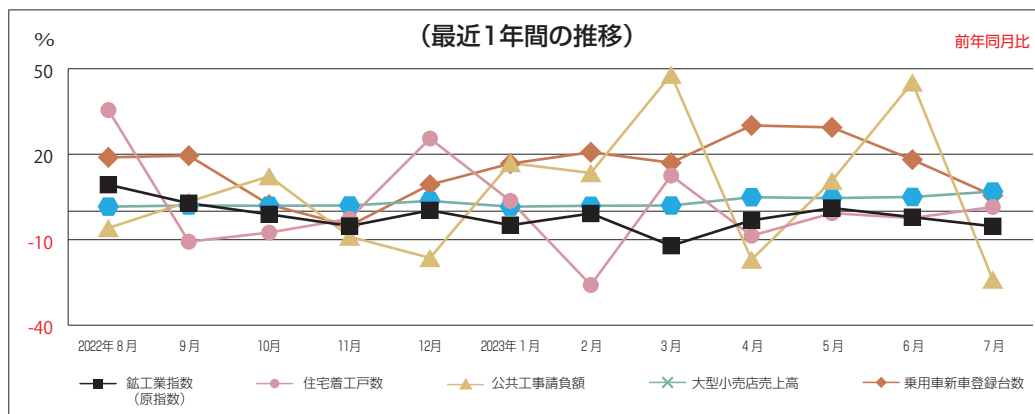
「総括判断」は前回判断を据え置いた

個別の判断はすべての項目について前回判断を据え置いた

(設備投資) ⇒ 増加している	(個人消費) ⇒ 緩やかに増加している
(住宅投資) ⇒ 弱含んでいる	(公共投資) ⇒ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ⇒ 弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ⇒ 持ち直している

🔴…前回から上方修正 ➡…前回判断を据置 🔵…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



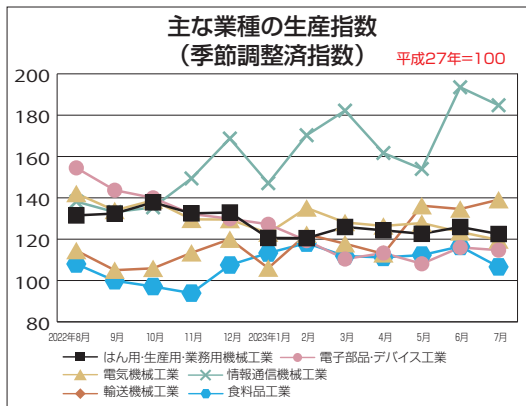
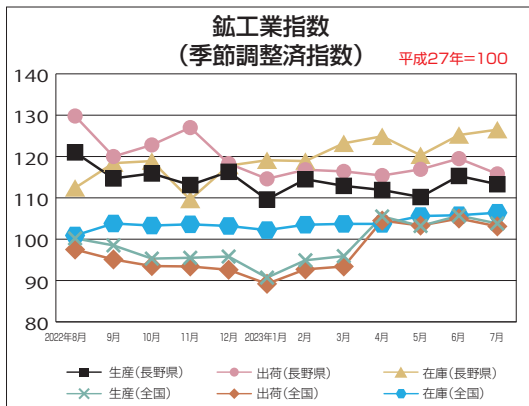
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報) 【7月】 平成27年(2015年) = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	113.3 (115.3)	▲1.7 (+4.6)	113 (120.0)	▲5.3 (▲2.1)
出荷 (前月確報)	115.8 (119.5)	▲3.1 (+2.2)	118.5 (125.2)	▲8.6 (▲3.5)
在庫 (前月確報)	126.5 (125.2)	+1.0 (+4.1)	124.8 (124.0)	+13.7 (+12.0)

- 前月比 (季節調整済指数) で、生産は2か月ぶりの低下、出荷は3か月ぶりの低下、在庫は2か月連続の上昇
- 前年同月比 (原指数) で、生産は2か月連続の低下、出荷は7か月連続の低下、在庫は5か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…輸送機械工業、プラスチック製品工業、その他工業ほか5業種
- 生産で低下した業種…食料品工業、汎用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業ほか5業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数 【7月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		1,041	+1.5
利用関係別	持家	610	+4.6
	貸家	303	+0.3
	給与	2	皆増
	分譲	126	▲10.6

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は4か月ぶりに前年同月を上回った
- 利用関係別では、持家は2か月ぶりの増加、貸家は2か月連続の増加、分譲は2か月ぶりの減少

■公共工事動向 【8月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	22	1,185
独立行政法人	5	254
県	99	4,168
市町村	162	5,802
地方公社	3	150
その他	4	406
合計	295	11,965

(東日本建設業保証調べ)

- 8月の請負件数は前年同月▲56件、請負金額は▲24.0%であった。また、請負金額の発注者別では地方公社 (前年同月比+102.7%)、市町村 (同+13.3%) で前年同月を上回り、国 (同▲64.8%)、県 (同▲40.8%)、独立行政法人 (同▲27.2%)、その他 (同▲308.2%) で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数 【8月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	3,639	+5.5
軽自動車登録台数	3,365	+13.5
全体 (二輪車を除く)	7,131	+9.2
自動車保有台数	1,892,822	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は8か月連続で増加、軽自動車は3か月ぶりに増加、全体では12か月連続で増加
- 2023年8月末時点における自動車保有台数内訳…登録車948,689台 (前年同月比▲0.3%)、軽自動車906,087台 (同+0.9%)、二輪車38,046台 (同+2.7%)

■大型小売店売上高 【7月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		23,613	+6.9
内訳	食料品	20,281	+7.5
	衣料品	1,162	+5.6
	雑貨・その他	2,170	+2.2

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は22か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、気温の高い日が続いたことで飲料などが好調だったほか、販売価格の上昇などもあり前年同月を上回った
- 衣料品は、外出機会の増加に伴い夏物の売り上げが増加して前年同月を上回り、雑貨・その他は、身の回り品などが堅調だった

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【7月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.43倍	▲0.01pt
全国	1.29倍	▲0.01pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【7月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	16,255人	▲6.2%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【7月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	6,003人	2.7%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.14ポイント上回り、全国順位は12位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人人数(季節調整値)は46,016人で前月比▲0.5%の減少、有効求職者数は32,182人で同+0.4%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業など

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

☞ 全数のうち常用は3,793人(前年同月比+1.5%)、パートは2,192人(同+4.5%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【8月】

	倒産件数	負債総額
	10件	8,361百万円
前月比	+42.8%	+1431.3%
前年同月比	+66.6%	+307.2%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では中信が5件、北信が3件、東信、南信がそれぞれ1件

☞ 業種別では建設業と不動産業がそれぞれ2件、飲食料品製造業、建築材料・鉱物・金属材料等卸売業、飲食料品小売業、運輸業、飲食業、生活関連サービス業・娯楽業がそれぞれ1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は4件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～

ATM手数料改定のお知らせ

10/2(月)
改定!

日頃は長野銀行・八十二銀行をご愛顧いただきありがとうございます。
このたびの経営統合に伴い、両行のATMをより便利に相互利用いただけるようATM利用手数料およびカード振込手数料を統一し、お客さまの利便性を高めてまいります。

- ・両行のATM相互利用に係る「提携手数料」を無料化します
- ・両行のATMを利用した両行間のカード振込手数料を「自行宛扱い」に変更します

ATM相互利用に係る「提携手数料」の無料化

改定後:八十二銀行ATM・長野銀行ATM

お引出し			お振込		
曜日	八十二銀行カード利用	長野銀行カード利用	曜日	八十二銀行カード利用	長野銀行カード利用
平日	無料	無料	平日	無料	無料
土日祝	110円	110円	土日祝		

※お振込の場合は、別途設定のお振込手数料がかかります。

両行のATMを利用した両行間のカード振込手数料を統一

改定後:八十二銀行ATM・長野銀行ATM

		3万円未満	3万円以上
八十二銀行カード および 長野銀行カード の場合	八十二銀行宛	110円	220円
	長野銀行宛	110円	220円
	他行宛 <small>(八十二銀行・両行銀行もみぞ)</small>	440円	660円

くわしくは店頭までお問合せください